

NOC 技術ノート No.16

日光亀裂防止剤

サンノックについて

(4)

前回につづいてサンノックの冬～春季における曝露試験のデータを紹介します。

結果 2.1.2 カーボン配合、日陰曝露

○加硫直後ただちにループ状にセットして曝露した場合

	曝露日数														
	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75
コントロール	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	0	0	0	0	0
サンノック	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	0	0	0	0	0
対応品 A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	0	0	0	0	0
対応品 B	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	0	0	0	0	0

○加硫後プレートそのまま1週間放置後ループ状にセットして曝露した場合

コントロール	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	0	0	0	0	0
サンノック	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	0	0	0	0	0
対応品 A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	0	0	0	0	0
対応品 B	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	0	0	0	0	0

○加硫後ただちにループ状にセットし1週間室内放置後曝露した場合

コントロール	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	0	0	0	0	0
サンノック	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	0	0	0	0	0
対応品 A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	0	0	0	0	0
対応品 B	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	0	0	0	0	0

以上 A.S.T.M. D518-57T B法によるカーボン配合の冬～春季における曝露試験の結果を紹介しました。この他に今回も上記方法によるカーボン配合・屋外連続曝露試験（写真判定のみ次頁に掲載）上記方法による白艶華配合の曝露試験、また A.S.T.M. D518-57T A法によるカーボン・白艶華の両配合の曝露試験も行なっておりますが紙面の都合により詳細なデータは割愛いたします。

以上の全試験結果より明らかなようにサンノックは、どの曝露条件においてもすぐれた亀裂防止効果を持っております。

次に各試験条件別に見てみると

○カーボン配合・B Method

日光曝露（曝露時間 220 時間）は結果 2.1.1 に表示の

如く、どのセットの条件の場合もサンノックはすぐれた結果を示している。特に加硫後ループ状にセットし1週間室内放置後曝露した場合はすぐれている。日陰曝露（曝露日数75日）は結果 2.1.2 のごとく、サンノックはやはりすぐれていることがわかる。屋外連続曝露（曝露日数75日）も前二者と同様、どのセット条件の場合もサンノックはすぐれていることが認められる。

○白艶華配合・B Method

データは割愛したが、この配合では全般的にカーボン配合の場合と亀裂の様子が異なり、各試料間の差は僅少であるが日光（曝露時間 280時間）、日陰（曝露日数120日）、屋外連続（同120日）のどの曝露条件・セット条件の場合もサンノックは他にくらべてすぐれた結果を示している。

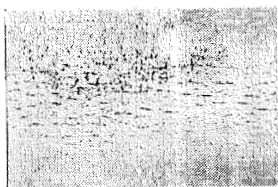
写真13 日陰曝露試験結果

曝露日数 75日

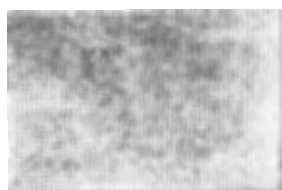
カーボン配合 A.S.T.M. D 518 B

写真倍率×3

加硫直後ただちにループ状にセットして曝露した場合

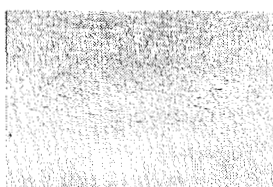


コントロール



サンノック

加硫後プレートのままで一週間放置後ループ状にセットして曝露した場合



加硫直後ただちにループ状にセットして一週間室内放置後曝露した場合

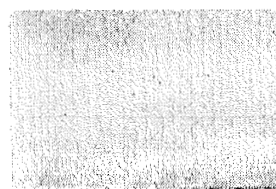
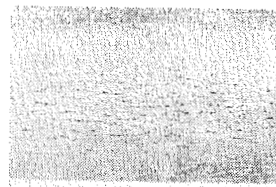


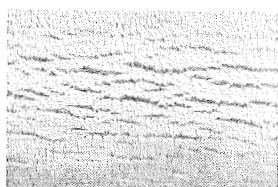
写真14 屋外連続曝露試験結果写真

曝露日数 75日

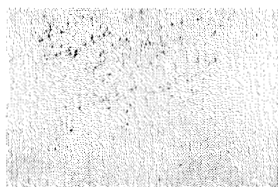
カーボン配合 A.S.T.M. D 518 B

倍率×3

加硫直後ただちにループ状にセットして曝露した場合

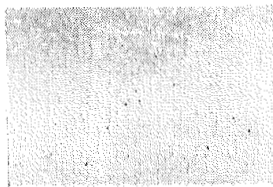
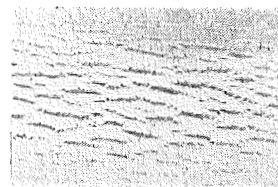


コントロール

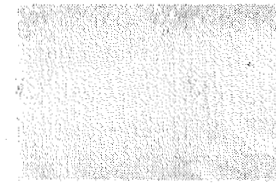
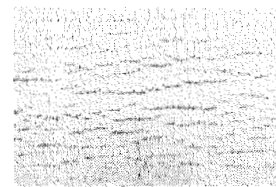


サンノック

加硫後プレートのままで一週間放置後ループ状にセットして曝露した場合



加硫直後ただちにループ状にセットして一週間室内放置後曝露した場合



○カーボン配合・A Method・日光曝露 (200時間)

詳細なデータは省略したが、B法と同様サンノックのすぐれていることが認められる。

○白艶華配合・A Method・日光曝露 (200時間)

カーボン配合の場合と同様に判定された。

以上四回にわたって日光亀裂防止剤サンノックに関す

る夏～秋・冬～春季の曝露試験結果を紹介いたしました。サンノックの紹介は今回にて終了いたします。なお詳細なデータは当社発行 NOC vol. 7 No. 2 (26号) を参照していただければ幸甚です。写真番号は NOC 26号と同じです。

大内新興化学工業株式会社